

派遣労働ネットワークは、新派遣法施行一年を迎えた昨年二月一日〜三日、全国一斉に派遣トラブルホットラインを開き、派遣労働者のトラブルや悩みの相談を受けました。

相談件数は一八七件。内訳は、契約中途解除・打切三五件、賃金・年休等労働条件三四件、契約と労働条件が違二〇件、違法派遣

・偽装請負・二重派遣一九件、社会労働保険一五件、差別・嫌がらせ・セクハラ二二件、退職申出トラブル一〇件、プライバシー侵害

六件、派遣先の事前面接五件、通勤費・税金関連四件、仕事の紹介がない三件、労災・安全衛生三件、その他二一件でした。

多くの事業主が派遣労働者を正規雇用労働者の代替として活用しようとする脱法的な傾向がますます強まり、

契約解除による解雇で、働かざるの最低限の権利が守られていない現状が明らかになりました。

二月一日から新しくスタートの「紹介予定派遣」で働こうとする人からは、試用期間としての派遣契約が繰り返して更新され、いつまでも採用が引き延ばされるのではないかと、派遣終了

正規雇用者の代替としての活用広まる

後に本当に採用されるのか、といった不安の声が寄せられました。

一方、昨年の「派遣法改正」で禁止された派遣先による「事前面接」や「年齢制限」が相変わらず横行しています。また、社会労働保険の保険料支払いを逃

れるため、雇用契約を業務委託契約に切り替え、派遣労働者を個人事業主と偽装する手口が広がっている実態も浮かび上がりました。

契約中途解除のトラブルは若干減少しましたが、契約期間は急激に短期化し、一〜三ヶ月の契約が増えています。

契約の短期化で従来は契約中途解除だったものが、期間満了、更新拒絶という形で現れているものと思

われます。また、契約中途解除の代替仕事の紹介は増えていますが、時給が下がった

り、通勤できないなどとても受け入れられない仕事の紹介が多くあります。

この結果を踏まえ、違法な事前面接の廃止などを日本人材派遣協会に申し入れるとともに、一月には派遣労働者の権利向上を求めて厚生労働省と交渉しました。

派遣労働者の権利向上を求めて厚生労働省と交渉しました。

派遣労働者の権利向上を求めて厚生労働省と交渉しました。

派遣トラブルホットライン

インターネットで繋がる労働運動

インターネットを活用した労働運動が活発になってきました。

例えば、「白木屋」など居酒屋チェーン店を経営する(株)モンテローザの労働組合では、同社の「欠勤で八万円の賃金カット」などのひどい労働実態をホームページ(www.01tree.com)で

暴露し、労働条件の改善に成功しました。現在は残業代不払いの実態を全国の従業員に提供、ともにたたかうことを訴えています。

また、労働組合のネットワークを目指すユニオンネット(www.union-net.or.jp)の掲示板には今まで労働運動とは無縁だった人たちが多くの相談が寄せられています。

労働運動を支援することに特化したインターネット・プロバイダも誕生。JCA-INTERNET(www.jcapc.or.jp)ではインターネットを労働運動で活用するための講座を開催し、組合のホームページ作成や運営ノウハウを提供しています。JCA-INTERNETはネットワークを活かして国際的な労働運動ネットワーク(レイバーネット日本)の立ち上げを準備しています。

労働運動はより多くの人たちと連帯するのがいいと決まっています。しかし、いろいろな理由で一つにまとまるのが困難なのが実情です。労働組合というものに違和感を感じる若者も増えてきました。ところがネットワークというカジュアルな関係であれば意外とすんなり受け入れられるようです。これはインターネットが組織対組織という結び付けでなく、人対人の関係を強く感じる親しみやすい媒体だからではないかと思われま

す。

今後、インターネットは機械的な結び付けだけでなく、人と人との連帯にも大いに役立つそうです。

秋の学習会報告から

会員・関係者の理解の不十分、少なからぬトラブル発生、そして何と云っても担当者の力不足です。今年度はまさに正念場です。逆にこの一年で得たものは、派遣会社のノウハウがつかめてその立場が「理解」できたことです。業界の実情を今までとは違った角度でみることでできたことも、ユニオンの活動にプラスになっています。

自動車部会

新産別連帯者労働組合(以下、新連帯)と日本自動車運転士労働組合は組織力を高め、市場への影響力を持ち、賃金・労働条件の向上を図ることを目的に新産別組織となります。

一昨年から準備してきた「労働者供給事業労働組合連合会」は二月に発足します。さらに、新連帯では福祉交通と資源リサイクルの事業を行う企業組合の五月発足に向けて準備中です。

また、この企業組合は一般労働者派遣事業の許可を取得し、「供給・派遣」の仕組みで派遣事業も行う予定です。

高給化が進む中、質の高い介護職(ヘルパー)の需給のマッチングシステムを非営利・協同の立場で広げることが社会的要請となっています。これにこたえる運動が必要です。

高給化が進む中、質の高い介護職(ヘルパー)の需給のマッチングシステムを非営利・協同の立場で広げることが社会的要請となっています。これにこたえる運動が必要です。

高給化が進む中、質の高い介護職(ヘルパー)の需給のマッチングシステムを非営利・協同の立場で広げることが社会的要請となっています。これにこたえる運動が必要です。

高給化が進む中、質の高い介護職(ヘルパー)の需給のマッチングシステムを非営利・協同の立場で広げることが社会的要請となっています。これにこたえる運動が必要です。

高給化が進む中、質の高い介護職(ヘルパー)の需給のマッチングシステムを非営利・協同の立場で広げることが社会的要請となっています。これにこたえる運動が必要です。



全日本運転技術者労働組合は供給先企業とともに昨年九月に有限会社・東京ネットワークを発足させ、「供給・派遣」の仕組みで人材派遣業・人材育成事業を行うため、一般労働者派遣事業の許可申請中です。

ケアフォーラム

看護職・家政職の労供事業は半世紀の歴史を持っています。二〇年前、最盛時には全国で千人以上の人がこの労供事業で働き、生活を支えてきました。

しかし、病院における付き添いの廃止、組合リーダー及び働く人の高齢化で組合員は減り続け、昨年初頭には三五〇人を切る状況になりました。

昨年四月、介護保険制度のスタートと同時に、介護・家政職の三労供事業組合が協同で企業組合・ケアフォーラムを設立して訪問介護の事業をはじめ、新たな介護・家政の職場確保、組合員拡大に取り組みました。

この一年間、高齢化で退会する組合員が続く中でも五〇人以上の仲間を増やし、減少から拡大へ転換しました。また、事業高もこれまでの二億五千万円から三億五千万円と大きく増勢に向かいました。

高齢化が進む中、質の高い介護職(ヘルパー)の需給のマッチングシステムを非営利・協同の立場で広げることが社会的要請となっています。これにこたえる運動が必要です。